

# 広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

1999.7.15  
No.550

サークル通信

集まれば、面白いこといっぱい  
日本ボーイスカウト白根第一団



自立心のある健全な子供たちを育成しようと、日本ボーイスカウト白根第一団は昭和38年に発隊。現在、市内外から集まった子供たち27人と、指導者の18人が活動しています。

活動は毎月2回、主に日曜日を利用してハイキングや野営の仕方、救急法、手旗信号などの指導が行われます。「ただ目的地へ行って行動するのではなく、子供たちが目的地までの交通手段を調べて計画を立てるところから始まります。みんなで協力することが大切なことと指導しています」と隊長の長井知也さん。昨年の弥彦山登山では、子供たちが自発的に空き缶拾いを行い、指導者の皆さんを驚かせたそうです。

子供たちは「いろんな所へ行って、パーベキューやゲームなどいろんなことが体験できて面白い」「ボーイスカウトの目が毎回楽しみ」と元気な声で話します。

団では入隊を希望する子供たちを随時募集しています。問い合わせは、渡辺誠さん（☎372・2308）へ。



※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

## 第27回 白根市美術展覧会 市民芸術の粋、5作品

市政クリンアップ  
国民健康保険市民活動委員会  
まろの会  
お知らせ  
みんなのページ  
サークル通信  
あなたも編集士



### ＝交通事故の発生件数＝

白根警察署管内	6月末現在
	※( )は前年同期
発生件数	151件(131件)
死者数	0人(7人)
負傷者数	196人(155人)

**編集ルーム** ◎以前、広報や新聞紙上で作品募集を呼び掛けていた、白根産の農産物をPRするシンボルマークが決定。農産物などの出荷用段ボール箱やシールにデザインが活用されます。◎早いところでは、今月からいよいよデビュー。◎これでもっと「しろね」のモモやナシなどが、新しいシンボルマークとともに日本中の人に親しまれるのではないのでしょうか。(さ)

### 浜松 風 (静岡県浜松市)

五月三日から五日、遠州灘から吹く風を受けて中田島砂丘で開かれる浜松の風合戦も、国内外にその名をとどろかせています。

多くの風が揚げられて、ときには四重、五重に絡みます。小指大の麻製の揚げ糸を、風を操作してこすり切ったり、落とし合うのです。進軍ラッパが鳴り響き、興奮にわきたちます。合戦の前、広い会場に怒涛のごとく押し寄せる、全チーム出場の「練り」と呼ばれるパレードは壮観です。見事な演出には感服させられました。

合戦風は三メートルほどの正方形で、心棒の丸竹に長い尾ナワを付けて



揚げます。町内ごとに仮名や漢字の文字、鶴や狐面など、シンブルな町印の絵が風いっぱい描かれます。

十六世紀中ごろに始まったと言われますが、異説もあって真偽は定かではありません。一九八〇年には出場チームは六十ほどでした。二十年後の今では百二十に倍増しました。風に燃えたる浜松っ子の面目躍如です。

あなたも風博士

文・田村和雄  
(しろね大風と歴史の館運営委員会委員長)